

私たち対馬を愛しすぎています♡



対馬に縁の深い4人の女性に集まっていたいただきチョコならぬ対馬愛を贈っていただきました。

今月の特集は、福岡在住で対馬に縁の深い4人の女性に集まっていたいただきチョコならぬ対馬愛を贈っていただきました。

そういえば2月はバレンタインデー。いつか役に立てると思うから。こんなすてきな女性に愛される対馬って幸せかも！

愛すればこそイベントを仕掛ける。元気になるってほしいから。愛すればこそイベントを仕掛ける。元気になるってほしいから。愛すればこそイベントを仕掛ける。元気になるってほしいから。



久和 温実さん(対馬市出身)
九州大学1年生。対馬愛を語りだすと止まらない。昨年秋には、上県町志多留で行われた島おこし実践塾にも参加した。昨年10月から「よりあい処つしま」でアルバイト中。つしまドンナガ候補生!?



大神 祐子さん(春日市出身)
ヨガインストラクター。福岡県小郡市にサロンを開設。対馬出身者のアピールで、一昨年は三宇田海水浴場、昨年は小綱で海ヨガを開催。熱烈なアナゴ好き女子!新婚さん♡ つしまドンナガ



大庭 友紀さん(福岡市出身)
デザインの専門学校を卒業後、デザイン事務所に勤務し店舗看板や食品パッケージなどのデザインを作成。対馬歴約10年、島の特産品のプロデュースなどにも関わった経験をもつ。 つしまドンナガ



齋藤 梨沙さん(対馬市出身)
対馬高校卒業後福岡に就職。OLを経て、対馬の女性を輝かせたいとネイリストに転身。3年前より、対馬市福岡事務所に勤務し島のPR活動に奮闘中。 つしまドンナガ事務局担当。



対馬と私

海ヨガで対馬デビュー

大神 もともと福岡でも海のおそばでヨガを教えていました。たまたまそこに対馬出身の友達がいって「対馬にもヨガにぴったりのビーチがあるよ」と紹介してもらい、仲間と一緒に行ったのが初の対馬体験でした。一昨年は砂浜がきれいな三宇田海水浴場、昨年は豊玉町小綱の素晴らしい夕日を見ながらの海ヨガ。海辺のバーベキューも最高で、すっかり対馬に魅せられました。



三宇田海水浴場での海ヨガには地域の方も参加しました

合コンツアーで対馬初上陸

大庭 対馬とは10年以上のお付き合いです。初めて対馬に行ったのは20歳の頃、仕事を通じて出会った対馬出身の知り合いに勧められて、対馬の男性との1泊2日の合コンツアーに参加したんです。ご縁はなかったものの、その時の皆さんの優しさ、おもてなし

に感動、すっかり対馬ファンになりました。その後、対馬の特産品を扱う会社でカタログやパッケージを担当する仕事にも恵まれ、福岡の「対馬倶楽部」というグループにも入って、5年間毎月対馬に行き、島中をまわりました。対馬は私にとって、当たり前でふるさとのような場所ですね。

ネイリストでもあります

齋藤 対馬高校を出て福岡で普通のOLに。ずっと対馬に貢献したいという思いがあり、対馬の女性にネイリストになってもらいたくてネイリストになりました。対馬ではネイルサロンとかありませんでしたから。たまたまブログで対馬市福岡事務所があることを知り、そこで見つけた「福岡対馬会」なるものの存在、すぐ会長に電話して集まりに参加し交流を始めました。仕事もプライベートも機会があれば誰かに「対馬！対馬！」福岡事務所に入る前から自称「対馬宣伝隊長」です。



齋藤さんはツシマヤマネコ馬でネイルで描いちゃいます

よりあい処つしまでバイトしています

久和 九州大学の1年生です。21世紀プログラムという文系も理系もいろんな学びができる学部で、ここを選んだのは「対馬の役に立てるものを見つけたい！」と思ったから。今専攻の一つとして、有害鳥獣問題に取り組んでいます。糸島のキャンパスにはイノシ

シが出るんです！通称「九大狩り部」で箱罾の見回りをしたり、みんなでイノシシを解体して食べたこともあります。レザークラフトにも興味があります。対馬の大先輩がお酒を飲みながら熱く語り合ったり、対馬の風景に予想以上に感動されるお客さんに出会ったりと発見と感激の連続です。

つしまドンナ↑参上!!



広報つしまでもお馴染み「女性のチカラで対馬をアゲル力」をコンセプトに、2013年9月に結成された女性対馬ファンの集まり。個性的なメンバーが、対馬を盛り上げたい！魅力をアゲたい！持ち上げたい！と活躍中。写真は今年の新年会。久和さんもゲスト参加しちやいました！

対馬食材のフルコースやテイクアウトメニューの開発、歴女ツアーの開催など新年会では対馬をアゲるアイデアが飛び交ったそうです。

得意技でつしまをアゲる

齋藤 つしまドンナは、今22人の輝く女子が活動しています。カメラマン・雑誌編集者・デザイナー・主婦・対馬真珠でアクセサリーを作っているらしい方など、みなさ

ん輝くライフスタイルを持っていらつしやいます。得意目線で対馬の魅力を引出しアピールしてくれる、対馬にとって頼もしいグループです。今日来てくれてる大庭さんは、物産展など一番顔を出してくれ対馬人より対馬を知っているかも？というくらい。

大神 対馬でのヨガツアーは本当に景色が美しく、開放的で感動でした。私は食べるのが好き、特にアナゴファンなのでマドンナ企画として「ソバ」「小顔」「アナゴ」をキーワードに楽しんでもらいました。対馬出身の女将がいるお蕎麦屋さんに女性を集め、私が小顔体操を実践、そのあと対馬のソバと埼玉のソバを食べ比べ、アツアツのアナゴ天ぷらも付けていただきました。食の美味しさももちろんですが「対馬について知らないことが多いね」という感想が多く聞かれました。



物産展で対馬をアピールする大庭さん

大神さんのヨガツアーも、対馬ならではの大自然をバツクに憧れのシェイプアップはまさに女性目線！
ここ、よりあい処つしまでは「女のアナゴ会」なるものを開催し、料理長自慢のアナゴのフルコースを味わっていただきます。



小顔体操とソバの食べ比べは大好評でした

大庭 つしまドンナカは特技を持つ方が揃っているの、いろいろなイベントもできるし、女性目線での新しい価値観やつながりによる対馬の発見が出来ると思います。

齋藤 ちよつとおこがましいけど、これまでは、一人できんとかしなきやともがいたりあせったりしていました。でもマドンナという心強い仲間が増え、自分の考えや行動にも幅が出てきました。

島おこし協働隊での女性の活躍は魅力

久和 島おこし協働隊のみなさんが来てくれて対馬が盛り上がりつつあると感じています。「僕ら地域おこし協力隊」という本に出会って、そこで紹介されていた対馬市島おこし協働隊の活動に感激し、いつか自分もやってみたくてという気

持ちが芽生えました。その一人、元協働隊で今も対馬で活躍する須澤佳子お姉さんとも仲良くさせていただいています。秋に上県町志多留を拠点に行われた「島おこし実践塾」も初参加しました。約1週間滞在し漂着物の清掃や田んぼの開拓、グループワークなどを通じて将来に向けた過疎地域のあり方を考えるもので、多くの学生など若者が各地からやってきます。私はある地域のプロモーションビデオを作るといふ企画を任せられたのですが、海がきれいとか魚がおいしいとかアピールポイントがありつつも、実際は、若い人がいない、島を出ようと思う、空き家ばかり、などと思き声の多く耳にしました。そんな中で地域の可能性を考えようと対馬出身じゃない学生たちも本気で取り組んでくれました。もつともつと自分が対馬に関わっていきたいとの思いは強くなるばかりです。

大庭 須澤さんと言えは、私もお友達？同志？みたいな関係です。この前もプライベートルドで対馬に行き、須澤さんのお宅にお邪魔して。彼女は薬草に詳しく、部屋の中は至るところ「対馬の草！草！草！」自分で煎じた薬草茶、

薬草風呂：翌日の朝食は近くに実っているもぎたてのビワ。何度も対馬に行きました。「私って対馬のことまだまだ分からないことばかり」というくらい経験でした。旅に行くときあれもこれも持って思いがちですが、こんなマニアックツアーも魅力的だと思います。

大神 薬草とヨガのコラボもいいですね！

齋藤 須澤さんの話、私もかっちょえてください！(笑) 須澤さんって対馬の対馬を知る一人だと思えます。0から1を産みだそうとするアイデア、行動力そして火傷しそうなぐらい(笑)の情熱にいつも心を動かされます！

今、薬草が話題に出ましたけど、須澤さんが開発した「対馬そば青汁」は毎日飲んでいきます。

王理恵さんも対馬ファン

齋藤 王理恵さんは「対馬ソムリエ」として、対馬を応援してくださっています。私は、福岡事務所対馬女子ツアーに関わらせていただいているんですが、昨年末も実は理恵さんたちと対馬に行っていました。豆酸のみか

ん狩りや自分で捌いたアナゴを食べるなど非日常の体験を通じて対馬を感じていただきました。アナゴを捌くのは敬遠されるかな？と思いきや皆さんやる気！捌きたてのアナゴや魚介類のバーベキューはとも喜ばれました。理恵さんは「対馬に足を運ぶ度に元気になる。空気の良さ、対馬の人のあたたかさに触れ、私の第二の故郷みたいな場所」といつも話してくれます。



王理恵さんも同行した「対馬よくばり旅」には福岡や佐世保から10人の女性が参加しました

ちよつとだけ言わせてください

大庭 以前よく思ったのは、島のお土産って物は良いのに、似たようなパッケージが多くて残念。ラベル貼っただけと

か：それが意味対馬らしさかもしれないけれど、お土産として持つていくときにキレイにパッケージやプランニングしてあるだけで印象が変わります。商品が一人歩きできるような、その商品から島に関心を持ってもらえるようなものが生れてほしいですね。また、いくらこちらで発信しても、カタログでうたわれているような感動を得られないのか。とんちゃんが有名になっただけ、どこでも食べられるかといえば、そうじゃなかったりするかも。受け入れ側がサービスを充実してくると、誰かの助けを得なくても、対馬を自分たちで気軽に回れるもつと行きやすい場所になると思います。

久和 18年間対馬に住んでいましたが、まだまだ知らないことばかり。島おこし実践塾に参加して、つくづく感じました。若い人に知らないまま、対馬を出てほしくない。今住んでいる対馬の子どもたちがもつと対馬を学べる環境が作られたらいいなと感じます。

大神 男性は釣りがしたい！ママたちは子どもと行ける場所を！などイメージできるけど若い女性がよくつくものは何？と言うとき、ちよつと



よりあい処つしまでの
バイトも頑張ります

弱いかな：その入り口を発信できなかったらよいですね。実は、今日は対馬の真珠で作ったもらったイヤリングとペンダントつけてるんですよ。それもちよつと玉の変形したやつ。いいでしょ？今からランチなので真珠アピールです。

齋藤 事務所に入って強く思うのは、対馬の一番の宝は『人』。でも、対馬の人はシャイで内弁慶（笑）。一所懸命いいものを作っているのに作り手の想いが伝わっていないのが残念でもつたない。対馬と福岡のパイプ役（伝える・つなぐ）として私はその想いを乗せる役割を担ってきたいなと思っています。

最後に一言

大神 できれば、今年度中に対馬のお魚を握って食べるといふ企画を実現させたいと

思っています。食い倒れツアーもいいな。民泊「吉栄」さんのめちやくちや美味しい夕ご飯は友達にも食べさせてあげたいですね。食べることはばかり（笑）

ヨガをやってみたい場所もまだまだたくさんあります。烏帽子岳展望台や和多都美神社など。室内より外でやる方が解放感があつていいんです。

久和 とにかく対馬を知ってほしいので、大学には対馬のTシャツを着ていたり、対馬コノソレバツジを着けたりしています。まずは九大キャンパスに対馬ファンを増やしたいですね。対馬とも行き来して島の関心のあるイベントにも参加するつもり。今年も志多留でインターンもやってみたい。齋藤さんにサポートしてもらい、今年11月の学祭では、絶対に対馬コーナーも作ってみせます!!今日は皆さんと出会えてワクワクが止まりませ〜ん!!

大庭 久和さんのお話を聞いて、生まれた時から対馬にいて当たり前になつていて感覚の人が、対馬を盛り上げようと頑張るのは本当に大事だと思えました。外の人間は、知った気になつている部分だけで動いている面もあります。

この若さで、ビジョンを持つてやつていきたいという姿は素晴らしい。

島の問題も知つた上で何が出来るのかを考えることも必要です。私にとつて対馬は、いつも誰か待つてくれているふるさと。その良さを伝える時に「行つてみたいでしょ？」つてイメージさせられたらいいな。

齋藤 対馬を特定の人に知つてもらつるとともに、物産展などに来てくださる不特定多数の人にも、もつと対馬をアピールできるような企画を考え強化したいと思っています。旅の部門でも、ホテルなどに加え、対馬の人と深くかわる民泊ツアーの魅力も発信したいですね。よりあい処ができたこの1年は、対馬をたくさんの方にさらにアピールできたとおもいます。思い立つたら即行動!!対馬宣伝隊長として、今年も頑張つていきます!!

みんなの笑顔が 私のPower!

常に、笑顔・喜びを生みだす人でありたい：
つてことで久和さん今から時間ある？ランチ行こうか！
久和「はい!!」



取材場所：1周年を迎えた対馬のアンテナショップ「よりあい処つしま」